

植栽管理



ハナミズキ 花水木

ミズキ科・落葉小高木・北アメリカ原産

新しく植える街路樹に植えられ過ぎであるが、花が咲き、巨木化しないから、好まれているのか...

決まった場所で決まった時期に決まった事をやる、ルーティン的な要素が植栽管理作業にはありますが、植物は生き物、日々成長し、変化するもの故、毎年同じようにやっても、時には上手く行かない事もあります。

植物自体の変化、環境による影響、管理作業などにより、植栽環境は良くなることもあれば、悪くなることもあります。限られた空間や予算の中で植物を管理してゆくには、成長の促進と抑制といった相反するコントロールが植栽管理には必要です。また、倒木や枯枝落下などの事故や災害を未然に防ぐのも、植栽管理の上で、重要なポイントとなります。

今月号には、植栽管理作業の主な種類、裏面には作業時期の標準的な目安表を載せています。植栽管理業務をされる方、興味のある方は参考にいただければ幸いです。

適切に管理すれば、植栽環境は良好な状態を保つことができます。



せんてい 剪定

樹木の枝葉を透かし樹形を整え、枯枝や忌み枝（樹形や生育を妨げる枝）もあわせて切除します。

剪定時期は樹種や剪定方法により異なり、落葉樹は落葉期、常緑樹は真夏と真冬を除いた時期などがよいとされます。強剪定は樹木の切り口からの腐朽や樹勢の衰弱を招くことがあります。



ばっさい ばっこん 伐採・抜根

伐採は地上部（地際）より上の樹木を全て取り除くことをいい、抜根は根っこまで取り除くことをいいます。

枯木や根元が腐朽して倒木の恐れがある場合などに実施します。

伐採後、根元から萌芽しないようにするには、切株に除草剤を塗布するなど処置が必要です。



かりこみせんてい 刈込剪定

刈込鋏やトリマー（刈込機）で主に植込みや生垣の樹冠全体を均一に刈込ます。刈込は多数の枝をまとめて刈り取るので、比較的細かい枝を密集させる樹木で実施します。トリマーなど機械で実施したほうが、作業効率は上がりますが、怪我の際は人力刈込より重症化しやすい傾向があります。



せひ 施肥

冬の休眠期に樹冠の下の根元に有機質の緩やかに効く肥料を与えると、その年1年の生育により結果をもたらすとされ、寒肥ともいわれます。

バラや芝生など、施肥をすることで生育が格段に違うものもあれば、ほとんど必要としないものもあります。



しばか 芝刈り

冬に地上部が枯れる（茶色くなる）野芝や高麗芝などの日本芝の場合、5月～10月までの成長期には月1回以上の芝刈りが望ましく、11月に刈り止めをします。芝生は芝刈りなくして、維持管理は出来ません。

冬でも青々とした西洋芝の場合には、管理方法が異なります。



くさかり じょうそう 草刈り・除草

草刈りは通常、刈払機など機械で実施します。狭い箇所や機械の使用が出来ない箇所は、鎌など用い人力で作業します。機械刈りの際、刃で樹木の根元を傷つけないようにするのが大切です。

除草というと、人力で雑草の根っこまで抜くことを指すことが多く、植込みなどでよく行われます。



びょうがいちゅうぼうじょう 病虫害防除

殺虫剤や殺菌剤の薬剤（農薬）散布が安価でかつ効果的ですが、公園や住宅地など安易に実施出来ない場所が多くなっています。

薬剤散布にかわり、害虫の密集した枝を取り除く補殺や、飛散する薬剤を伴わない方法などもありますが、いずれにしても早期発見と対策が被害の蔓延を防ぎます。



どじょうかいりょう 土壌改良

樹木に元気がなくなっているのを感じたら、根っこに原因があることが多く、根元の土壌を改良することで、樹勢回復につなげます。

方法は様々ありますが、土壌の通気性・排水性を改善し、空気・水・養分を吸収する樹木の細根の発達を促し、時には養分も補充し樹勢の回復につなげます。

植栽管理年間作業目安

植栽の種類により作業頻度や内容が大きく変わる場合がありますので、詳しくはお問い合わせ下さい。

最適期 ←————→ 多少よい時期 ←-----→

作業内容\時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
樹木管理													
常緑樹剪定	←-----→											常緑樹は寒い時期はよくない	
落葉樹剪定	←-----→		←-----→		←-----→		←-----→					←-----→	
針葉樹剪定	←-----→											針葉樹は時期によらず強剪定に弱いものが多い	
植込みや生垣刈込	←-----→					←-----→							
植込み地除草	←-----→					←-----→							
施肥	←-----→					←-----→							
病虫害防除	←-----→				←-----→		←-----→					←-----→	
マツ手入れ	←-----→					←-----→							
マツ枯れ防止	←-----→					←-----→							
芝生管理													
芝刈り	←-----→		←-----→		←-----→						←-----→		
除草剤散布	←-----→					←-----→		←-----→					←-----→
施肥	←-----→		←-----→		←-----→		←-----→					←-----→	
手取り除草	←-----→		←-----→		←-----→		←-----→					←-----→	
芝張り(補植含む)	←-----→											←-----→	
裸地・そのた管理													
草刈り・除草	←-----→					←-----→							
落葉はき	←-----→					←-----→							
樹木点検	←-----→		←-----→			←-----→			←-----→				

◎植栽管理のポイント

管理作業は植物の伸長が著しい春から秋にかけて忙しく、冬は割と暇です。花や実を楽しむものは、樹種により剪定や刈込時期に配慮をしないと翌年の開花や結実に影響します。

実施回数目安

- 高木剪定…年1回以上が理想ですが、限られた予算で実施することもあるため、数年に1回程度、計画的に順番に実施する事例も多いです。
- 植込みや生垣刈込…年2回が目安です。新芽の固まる7月頃にガッツリ、寒くなり新芽の伸長が止まる11月～12月頃に軽めに行います。
- 草刈り・除草…回数が多いほどよいのですが、限られた予算で実施する場合、年3回(初夏・晩夏・晩秋～初冬)が望ましいです。
- 芝刈り…生育期には、こまめに刈る事で、芝はより元気になります。

安全第一であること

- 人の生命や財産に被害を及ぼす恐れがある箇所の把握と改善
…植栽点検(特に樹木)が重要です。枯枝や枯木の早期発見と適切な処置より、被害を未然に防ぐことが出来ます。近年、元気そうに見える樹木が倒木する事故も多くあり、根元の腐朽や樹木の傾斜などで予兆を掴むことは出来ませんが、樹木医等による診断が必要なこともあります。
また、チャドクガなど、害虫の中には触れると人がかぶれるなど被害のある種類もあり、こちらも早期発見と適切な処置が必要です。

～当社では障害者、親と暮らすことが出来ない子供たちの施設(社会福祉法人)に皆様から頂いた書類の使用済み切手等を使い、支援活動をしています～